

ご挨拶

私たちは一派に偏したり、時流に迎合することなく、各自その作画に情熱を燃焼し、自由な芸術完成に挺身するという主旨で1953年2月 太平洋美術会代表であった多々羅義雄を代表に17名で光陽会を結成。それから70年の月日が流れ、今年 第71回光陽展を開催いたしました。

コロナ禍で展覧会を中止せざるを得ない年もありましたが私たちは筆を休める事なく、ひたすらキャンバスに向かい制作を続けてきました。

今年1月 元光陽会会長で広島支部長だった市谷 實先生を病で失いました。私たちは悲しみを乗り越え、先生の「一人ひとりがプロ意識をもって、前に進んで行く様に」の言葉を胸に、制作態度を厳しく、苦しみながら、楽しみながら制作活動が続けていく所存です。

皆様からの励ましのお言葉を糧に支部員一同精進して参りたいと思います。

ご高覧いただき誠に有り難うございました。

本状を持ちまして、お礼状に代えさせていただきます。

令和5年6月

光陽会広島支部長 木村 順子

- 光陽会事務所 さいたま市浦和区大東3-28-23
 西村 俊彦 方
 (090-9374-1558)
- 光陽展広島準本展実行委員長 木村 順子
- 広島展事務所 広島市西区観音町12-3-1405
 木村 順子 方
 (090-1332-4609)

- ・光陽会ホームページ <http://koyokai.jp/>
- ・広島支部員作品は、<https://hiroshima-art.net>
ひろしまインターネット美術館でご覧いただけます。